

《担当者名》 松尾淳司 山崎智拡

【概要】

医動物学では、ヒトに疾病を引き起こす寄生虫および衛生動物を対象とする。寄生虫感染症は開発途上国などにおいては、未だ主要な感染症であるが、衛生環境の改善に伴い、かつて流行していた土壌媒介性の寄生虫感染症は大きく減少した。そのため、今日の日本において寄生虫感染症は過去のものと思われがちであるが、決して無くなったわけではない。むしろ、一部の寄生虫感染症では増加しているものも認められる。また、衛生動物は単に疾病を引き起こすだけでなく、ベクターとして、あるいは食品衛生などの点で問題となっている。本演習では、医動物学講義で学んだ知識を総動員し、寄生虫および衛生動物の形態観察から同定のポイントおよび各種検査法について学ぶ。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身にするために、医動物学の概要を理解する。
- 2) 生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけるために、寄生虫の形態的特徴を理解する。
- 3) 問題解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけるために、寄生虫学的検査法を理解する。
- 4) 原虫類の構造および鑑別点を説明することができる。
- 5) 蠕虫類の構造および鑑別点を説明することができる。
- 6) 各種寄生虫に適した検査法を選択し、実施することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	実習オリエンテーション	・実習概要	松尾淳司
2 3 4	線虫、吸虫	・回虫、鉤虫、鞭虫、蟯虫、犬糸状虫、旋毛虫 ・肝吸虫、横川吸虫、肺吸虫、肝蛭、住血吸虫 教科書：p64-123	松尾淳司 山崎智拡
5 6 7	条虫、衛生動物	・日本海裂頭条虫、 Manson 裂頭条虫 ・無鉤条虫、縮小条虫、小形条虫 ・エキノコッカス ・ダニ、ノミ 教科書：p128-173	松尾淳司 山崎智拡
8 9 10	原虫1	・アメーバ ・トリパノソーマ ・リーシュマニア ・ランブル鞭毛虫 ・腔トリコモナス 教科書：p12-33	松尾淳司 山崎智拡
11 12 13	原虫2	・マラリア原虫 ・トキソプラズマ ・クリプトスポリジウム 教科書：p34-53	松尾淳司 山崎智拡
14 15	まとめ	・観察のポイント解説	松尾淳司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 60% 課題レポート 40%

【教科書】

吉田幸雄 他 著「医動物学 改訂7版」 南山堂 2018年

【参考書】

平山謙二 著「最新臨床検査学講座 医動物学 第2版」 医歯薬出版 2021年
吉田幸雄 原著「図説人体寄生虫学 第10版」 南山堂 2021年

【学修の準備】

教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。(80分)

演習で学習した部分について理解しておくこと。(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。